

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
1	町道塚原長谷川線の延伸について(鳥栖まで)	現在、けやき台から基山PA付近の道路整備を行っており、3年程度かかると見込んでいます。その間に民間開発の案件も動く見込みなので、それから検討する。整備する可能性は1~2年前よりも上がった。		町長	現時点では、塚原・長谷川線の延伸計画はございませんが、現在改良事業中である三国・丸林線の道路整備が進んだ段階で、他の路線も含めた幹線道路整備について検討を進めていきたいと考えています。		△	建設課
2	中学校のユニバーサルデザインについて、現在車椅子が通れない。	すぐに確認します。対応しなければなりません。	児童福祉	町長	中学校のエレベーターとスロープ設置については、国へ事業計画の提出を行っております。		○	教育学習課
3	葬祭公園について、建て替えをしないのか？また、山間部ではなく平野部にもってこれないか？	保育園等と比べて優先順位が低いと考えている。		町長	基山保育園が建設に向けて一段落しましたので、基山町葬祭公園については、今後、大規模改修による建物の長寿命化あるいは建替えや近隣との広域連携による運営を検討しているところです。		△	まちづくり課
4	イノシシ対策について、ワイヤーメッシュを張っても下から潜られて荒らされる。武雄市のようにもっと本腰を入れた対策をできないか？	現在年に100頭程度の捕獲数と認識している。捕獲報奨金を猟友会以外にも払うことができないか等も含め検討を行う。		町長	ワイヤーメッシュについては、十分な効果が得られていない状況ですので、現在、8月から10月までの3ヶ月間だった有害鳥獣捕獲期間を平成30年度から通年に変更し、捕獲頭数を増やすことでイノシシ対策に取り組んでいます。(平成30年度:年間279頭、平成29年度:年間127頭)		○	産業振興課
5	小動物の処理について、捕獲までは行うのでその後の処理をお願いできないか？	報奨金が出る分についてはその方達で申請している。外来種などの処分はしていない。		町長	捕獲した小動物の処理については、個人で処理をお願いします。		○	産業振興課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
6	県道17号線正応寺IC付近の本線にわだちが出来ていて、ICから下りるときにハンドルを取られる。2~3年前に建設課や県土木事務所に言ったはずだが。	すぐに県に確認します。	道路整備	町長	東部土木事務所では、令和元年7月に補修工事の入札を行い、現在、契約手続きを進めているとのことです。		○	建設課
7	鹿毛病院のシャトルバスが小学校近くの細い道を通っていて危ない。	すぐにでも、ルートを変更するようにお願いします。		町長	シャトルバスは、午前中1時間毎に運行しており、通学の時間帯には運行しないように対応をしているとのことです。今後、小学校の近くを通らないよう、路線の変更を検討して頂くようお願いをしています。		○	—
8	消防団員について、現在団員が入らない。	基山町規模の自治体であれば5部程度の部数。基山は9部までであるので、まとめることもできると思う。ただ、町主導ではなく、青年団、婦人会や老人クラブと一緒に、区と一体的に活動を行う団体であるので、構成区の中で話し合ってもらいたいと思う。		町長	現在、消防団員の対象者は、町内全体でも減少傾向にあります。その中でも行政区単独で編成しています第3部、第4部、第5部、第7部については、現在でも対象者が少ない中、団員を確保していただいている状況です。このことは、基山町消防団全体の問題としてとらえて消防委員会、消防団、区長等と引き続き検討していきます。		△	総務企画課
9	町道と田畑の間の法面の草刈り中に、飛び石で車に傷をつけた場合の補償などができないか。また、草刈り自体が危険な場所について何らかの対応をお願いしたい。	アダプトプログラムの保険に對物賠償がなかったか確認する。高所への防草シート設置補助なども考える。	産業	町長	アダプトプログラムの保険には對物賠償が含まれていますので、アダプトプログラムへの登録をご検討ください。また、危険な場所の草刈りについては、現地を確認して、業者への委託等で対応したいと考えます。		○	まちづくり課建設課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
10	秋光川の黒谷～長谷川間の 中州が草刈りにくい。見ても らったらわかると思うが、浚渫 できないか？	確認します。	その他	町長	平成30年10月に東部土木事務所へ浚渫 の要望を行っていましたが、現在、東部土 木事務所設計及び自然保護団体との協 議中で、令和元年度から複数年で、秋光 川、実松川の浚渫が予定されています。		○	建設課
11	県道17号線側道の草刈りを多 くできないか。	現在、業者に任せて年に1 回か地元任せて年に2回 のどちらかとなっていたは ず。土木事務所に確認す る。	環境	町長	東部土木事務所に確認したところ、年2回 の草刈としており、草刈時期を調整し対応 するとのことでした。		○	建設課
12	亀の甲ため池の決壊時の連 絡体制について。	鳥栖プレミアムアウトレットと の関係は良好です。何か あった時には県道も含めて 連絡できるようになってます し、今年度ため池の調査も 行うことになっています。		町長	亀の甲ため池については、被災以降、地 元の水利組合では安全対策のため、上流 の水がため池に入らないよう迂回させ、た め池に水を溜めないようにされています。 今後、緊急時の連絡体制の共有を含め、 地元や水利組合、関係機関等と小まめな 協議を行うことで、防災に努めていき たいと考えています。		○	総務企画課
13	河川の草刈り後の焼却につい て、燃やすべきなのか。秋光 川が1区と9区の境になっ ているが、9区から苦情が来 る。	土木事務所に確認します。	環境	町長	河川の草刈りや焼却業務は、基山町河川 愛護協会が、東部土木事務所から受託に より行っています。草の処理については、 東部土木事務所との受託契約では、焼却 により処理するようになっています。焼却 時は風が強い時を避け、事前に周囲の民 家に焼却する旨を周知しています。		○	建設課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
14	市街化区域の拡大について (都市計画区域の見直しについて)。	佐賀県に線引きの見直しや撤廃を働きかけてきて、市街化区域に挟まれた調整区域については宅地開発ができるようにとりつけた。玉虫交差点付近も29区画できるし、基山駅前ロータリーや駐輪場も改修を行う。JA基山支所の敷地もどうにかできないか協議を行っている。		町長	市街化区域の拡大につきましては、おおむね10年後の人口及び産業の見通しに基づき、住宅用地、商業用地等の必要面積を算出したうえで、市街化区域周辺の土地に関して行うことが望ましいとされています。 町としましては、定住人口増と生活サービスの確保を目指すべく、市街化区域の拡大と居住誘導区域内の人口密度の維持を両立したいと考えておりますので、現在の市街化区域の周辺において市街化区域を拡大できるよう、県との協議を行ってまいりたいと考えています。		○	定住促進課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
1	基山町葬祭公園がバリアフリーになっておらず、高齢者の方が利用しづらくなっている。ひとりずつ乗って上がれるエスカレーターはあるが、かなり時間がかかる。バリアフリー対策を考えてほしい。	全面改築は難しいが、一部改修（バリアフリーも）考えてはいる。他にも保育園や町営住宅の改築、改修もあるので、どこまで改修するかを考えないといけない。	葬祭公園	町長	基山保育園が建設に向けて一段落しましたので、基山町葬祭公園については、今後、大規模改修による建物の長寿命化あるいは建替えや近隣との広域連携による運営を検討しているところですので、バリアフリー対策についてもその中で検討したいと考えています。		△	まちづくり課
2	町営球場近くに田んぼを持っているが、水の通りが悪くなったことがあり、町営球場近くの排水溝を見てみたら泥がたくさん詰まっていた。以前管轄は教育委員会と聞いたが、排水溝の掃除はどうなっているのか。	管轄は教育委員会からまちづくり課に変わり、基本スポーツ、環境関係はまちづくり課になる。U字溝の確認をするよう伝える。今後気になることがあれば、まちづくり課に問い合わせただければと思う。		町長	現地を確認して既に対応していますが、詰まりやすいため、今後もチェックをして対応していくように考えています。		◎	まちづくり課

No.	質 疑 内 容 等	回 答 等	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
3	バイパス沿いの町道に面した法面を除草作業しているが、今後除草作業をした箇所にコンクリートや防水シート等を貼ったり、その作業に対しての補助金等出してもらえないだろうか。	まちづくり課の生活環境係でアダプトプログラムをしているが、補助金ではなく除草作業に必要な道具やゴミ袋等を渡している。今年からまちづくり基金の中で、そういう取り組みに関して提案していただければ、補助金の対象になる可能性もある。きちんと整備して、どういう区分けにしていくかを考えていく必要がある。基金事業については使えるかどうかをもう一度整理して、結果を区長に連絡する。		町長	まちづくり基金事業に該当すると考えられますが、3年間の事業であるため、詳細についてまちづくり基本計画の策定も含め、まちづくり課と協議をさせていただきたいと考えています。		△	まちづくり課
4	鳩による大豆の被害がひどいので、駆除してもらえないか。公道や民家があるところは銃を使い駆除することができないと聞き、他市町に対策を教えてもらったところ、猛禽類の鷹を使い、一定の効果があつたとのこと。今後の対策を検討してほしい。	猟友会と役場職員で回って鳩の駆除はしている。公道、民家があるところは撃つことができない為、そういう場所の駆除が難しい。今後も被害が拡大するなら猟友会と相談をして駆除の方法を考えていく。		副町長	猟友会へは、カラス等の駆除を実施する際、鳩についても重点的に巡回するよう依頼をしているところですが、現在、鳩による被害が拡大しているような情報は入っておりません。		○	産業振興課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
5	<p>長谷川の塚原線延伸の計画されていると思うが、実施はいつからになるのか。</p> <p>また、小松小倉線の弥生が丘（温泉施設）までの道路、正応寺線までの道路開業についても10、20年前から意見を述べていたが、進んでいない。</p> <p>特に長谷川、三ヶ敷地区は役場までかなり遠回りをしないとイケない。</p> <p>停滞している道路延伸の実施をもっと考えてほしい。</p>	<p>塚原線長谷川の優先順位は他と比べ低く、塚原線を延伸する費用対効果があるのか考えていく必要がある。まずは遅れている白坂久保田2号線を繋げ、けやき台へ突き抜けさせることが優先となっている。突き抜けた後はその道路を拡張する必要があり、そこまではだいたい決まっている。【町長】</p> <p>塚原線計画の始まりは鳥栖市道からで、現在は交通量も非常に多いところとなっている。実際どこまで繋ぐと基山にメリットがあるのか、10年以上前の事業となっているため、今後このまま計画通りいくのか、変えていくのか議論をしていけたらと考えている。園部共乾まで様子を見るのか、地域の方の意見、接続した後の効果があると思うので、そういった分も合わせて議論していきたい。【建設課長】</p> <p>塚原線にしても、どの線にしても、同じ線でもどこまで延伸するのか意見を言う人によって違うので、まずはそれらの意見、予算を整理しなければならない。【町長】</p>		町長 建設課長	現時点では、塚原・長谷川線の延伸計画はございませんが、現在改良事業中である三国・丸林線の道路整備が進んだ段階で、他の路線も含めた幹線道路整備について検討を進めていきたいと考えています。		△	建設課
6	<p>福岡県と大分県で土砂災害があり、基山町も他人事ではなく、特に鎌浦や丸林あたりの被害が心配。今回の災害で、避難所については、民家を避難所に指定してあったこと、今後消防等での地域防災リーダーの養成にて備えを検討していただきたい。</p>	<p>基山町では、60件くらい土砂の危険地域があるため、その方々に電話で連絡を取るようになっている。避難所開設もこの時伝えている。この間の豪雨の時に開設された避難所は8名（町外者）利用があった。基山が落ち着いてからは朝倉市の方に義援金や支援物資の対応をしている。</p> <p>現在、基山町では危険な地域と家の特定を行っており、すぐに連絡が取れるようにし、見回りもしている。新たに整備が必要な場所があれば、整備していく。【町長】</p> <p>園部の浄水場あたりは整備の計画がある。【建設課長】</p> <p>河川は実松川の改修をしている。また、消防訓練も消防自身も、住民参加型の分も両方行っているが、実際の災害を想定した訓練も考えなければならない。【町長】</p>		町長 建設課長	<p>平成30年7月豪雨による災害では、丸林地区の2戸が被災者生活再建支援法が適用されました。</p> <p>丸林地区では、区長、行政組合長を中心に集会所や避難所への誘導、避難者の安否確認などを行っていただきました。</p> <p>平成30年度ハザードマップの改訂を行い、今年度各世帯へ配布をし、土砂災害の危険箇所も確認できるようにしました。なお、6月の運営委員会で、ハザードマップの説明をさせていただいております。</p> <p>また、地域防災リーダーの養成につきましても、令和元年9月に県が開催する防災研修会に参加をするにしています。</p>		○	総務企画課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
7	1区には園部団地があるが、老朽化がひどいので建替えをして欲しい。	園部団地の建替え準備は始めているが、他にも老朽化の施設がいくつもあり、取りかかりがいつからになるかは決まっていない。建替え場所を同じところにするか、別の場所にするかで、仮設住宅も必要になるし、建替えたことによって家賃が今より上がる問題も出てくる。今住んでいる住民の方の意見を参考にしたい。 園部団地は市街化区域ではなく調整区域になるので、階数を多くしたアパート等を建設することは出来ない為、いろいろなシュミレーションを考えていく。		町長	園部団地の整備については、令和元年度見直しを予定しております「基山町公営住宅等長寿命化計画」及び「園部団地建替えに関する基本構想案」の中で、財政状況等を考慮しながら、建替予定年度を含めた事業計画を検討していきます。		△	定住促進課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
1	園部団地の整備について、今後説明会の開催等をする予定はあるか。 園部団地では、耐震構造の調査を行っているのか。 どれくらいの震度まで耐えられるかという基準はないのか。 基山保育園でも生徒が多いので、災害に備えて整備について、早急に取り組んでいただきたい。	入居者がいるので、具体的に建て直す計画ができた場合には、説明会の開催を行う。【町長】 当時は耐震のはっきりした基準はなかったと聞いている。昭和56年に耐震基準の変更があつているので、今年度の方針のなかで精査したい。【建設課長】 大手のハウスメーカーでは、実験施設を持っているので営業用に基準を出している。通常の一般建物では、国が示している最低の基準をとっているが、一般の建物については、環境条件によって左右されるので、震度の計算までは示されていない。【建設課長】	町営住宅 防災	町長 建設課	園部団地の整備については、令和元年度見直しを予定しております「基山町公営住宅等長寿命化計画」及び「園部団地建替えに関する基本構想案」の中で、財政状況等を考慮しながら、建替予定年度を含めた事業計画を検討していきます。 なお、園部団地の耐震については、簡易耐火ブロック造による低層住宅のため耐震は保たれています。 また、基山保育園の整備については、6月21日に起工式を行い、令和2年3月17日までには建設工事及び機械設備工事を完了する予定です。		△	定住促進 こと も課
2	3年前に土石流危険区域の調査を行い、危険区域については、災害マップに掲載しているが、土石流に対してどういう防災対策事業を考えているか。 災害により住居が被害にあった場合には、どういう対応を考えているのか。	土石流対策としては、県の事業により砂防ダムや堰堤を作ったりするのが効果的だと思っている。今のところ1か所については予定があるが、他の地域については予定はない。土石流が起きたときに、避難地区に対しての避難経路、避難場所を地元の方に周知したり、避難訓練等を実施する必要がある。【総務企画課長】 危険地域については、68件把握しており、避難所を設置した際には登録者へ避難所の案内を行っている。【町長】 熊本地震では、避難された方が2日間で56人いた。熊本の被災者の方へ町営住宅への優先しての貸し出しをしている。万が一町内で起きた場合にも同様の検討を行う。【町長】	防災	総務 企画課長 町長	土石流対策として、現在、県の事業により園部の別所地区と小倉の小倉川第十一地区の2箇所に砂防ダムの設置事業が進められています。 また、平成30年7月豪雨による災害では、丸林地区の2戸が被災者生活再建支援法の適用に該当し、支援金が支給されました。町では令和元年度に基山町災害被災者に対する見舞金等支給条例を制定し、小規模災害や火災の場合にも見舞金や弔慰金を支給するようにしました。		○	建設課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
3	1区の避難場所は中学校になっているが、一人でいけない人に対しては、どういふ対応をしているか。 高齢者支援策については、どのような事業があるのか。	災害時要援護者の登録をしており、支援者として登録をしていただいている方に避難所への誘導してもらっている。また、役場に連絡をしていただいたら、役場で対応を行う。【副町長】 高齢者支援策については、総合戦略としては相談体制の強化を行っている。また、コミュニティバスにより買い物支援や社会福祉協議会でワンコイン程度でお手伝いをする事業を開始している。他にも徘徊高齢者への声掛けの訓練を行っている。楽しいシニアライフについては、サロン活動の充実やSNS、タブレットの使い方の講義であったり、スロージョギングということで健康づくりにつなげる事業を行っている。【総務企画課長】 基山町では、近い将来高齢化率が30%を超えることが予測される。地域においても、公民館等を拠点とした高齢化対策としての仕組みづくりを検討していただきたい。【町長】 昨年2区の避難訓練でも要援護者の避難訓練を行っている。【副町長】	防災	副町長 総務企画課長	一人で避難が困難な方については、避難支援計画(個別計画)登録や避難行動要支援者名簿の作成に取り組んでいます。 高齢者支援策については、緊急通報システムや配食サービス、「通いの場」の設置、高齢者見守りネットワーク事業、認知症サポーター養成等の事業に取り組んでいます。		○	福祉課
4	医療費助成について、高校生までの拡大の可能性はあるか。	現在、中学校までの医療費助成を行っており、高校生については、入院までを検討している。福岡県では、医療機関で受診時に500円程度の支払いで済む現物給付となっているが、佐賀県では、一度全額自己負担を行い、請求すると還付される償還払いとなっている。町単独では難しいので、佐賀県で足並みを揃える必要があり、小学生までは平成29年度から佐賀県全体で現物給付化の準備を進めている。【町長】	子育て支援施策	町長	平成28年10月より、高校生については、入院まで助成を行っています。なお、ひとり親については、子どもは18歳まで、親は20歳未満の児童を養育してる人については、入院・通院とも医療費が無料になっています。		○	こども課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
5	子育て支援については、お金をかけてもPRして欲しい。基山町は福岡への通勤圏内として人口が減る場所ではないと考えている。知人が基山町へ転居を検討していたが、学校にクーラーがなかったために、別の場所に住んだと言われた。鳥栖市は小中学校のエアコンは設置されているので、検討をお願いしたい。	子育て支援については、施策とあわせて子どもの写真を掲載するなどして、PRしていきたい。【町長】 クーラーの要望については、他の区でも要望はでているので、優先順位を上げていきたい。【町長】	子育て支援施策	町長	中学校は、平成25年度に3年生、平成28年度に1、2年生の普通教室にエアコンを設置しました。 小学校は、平成29年度に普通教室にエアコンを設置しました。 令和元年度は、小中学校の特別教室にエアコン設置を行っており、基山小学校は7月9日から、若基小学校は7月4日から、基山中学校は6月26日から、試運転を開始しています。		○	教育学習課
6	ふるさと納税の状況はどうか。	ふるさと納税については、上峰町は24億円、みやき町・玄海町が10億円を超えている。基山町では6千万円程度であり、そのうち町への寄与は半分くらいとなる。7月にふるさと納税の品目の見直しや寄付金の使用目的を明確化することを予定している。【町長】	ふるさと納税	町長	ふるさと納税の状況については、実績で、平成28年度が13,319件で5億7,170万円、平成29年度が45,106件で10億9,222万円、平成30年度が48,627件で10億3,045万円となっています。本年7月からは、国の指導により、大幅な改正が行われ寄附額が減っております。		◎	財政課
7	人口推計について、どの程度減少すれば市町村合併を検討するのか。また、現時点で検討しているのか。	現時点では、合併について考えていない。今のペースでいくと①の推計になると考えているが、推計の②、③をめざしていく。行政サービスが低下し、人口の半数以上が鳥栖のサービスが良くなれば合併を検討しなければいけないと考えている。【町長】	市町合併	町長	人口は、ここ3年間で微増の状況ではありますが、合併については、検討はしておりません。		×	定住促進課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
8	調整区域の見直しについて、田んぼを住宅にしたほうが良いと考えている。市街化区域を広げていくことはできないのか。	農振地域について、青地でほ場整備したところは難しいが、白地であれば開発できる手法がある。佐賀県と鳥栖市の両方に市街化区域拡大のアピールをしていく。また、町内に家を建てれば人口が増えると思う人が多いが、3年で人口は400人減っており、世帯数は200世帯増えている。要因として、町内で転居したり、町外から単身での転入が増えている。戸籍人口が住基人口より増えたら町の衰退を表すと考えているので、施策を考えている。皆さんからもアイデアをいただきたい。【町長】	産業振興	町長	市街化区域の拡大につきましては、おおむね10年後の人口及び産業の見通しに基づき、住宅用地、商業用地等の必要面積を算出したうえで、市街化区域周辺の土地に関して行うことが望ましいとされています。 町としましては、定住人口増と生活サービスの確保を目指すべく、市街化区域の拡大と居住誘導区域内の人口密度の維持を両立したいと考えておりますので、現在の市街化区域の周辺において市街化区域を拡大できるよう、県との協議を行ってまいりたいと考えています。		△	定住促進課
9	産業用地の拡大による企業誘致についてどう考えているのか。 旧公民館、旧庁舎などの町内の空きやを早く活用して、家を建てるなどの検討をしていたきたい。	町道の草刈りなど、企業のために支援することも企業の誘致につながると考えている。平成28年度から企業と連携して、企業の説明会及び工場見学を開催したいと考えている。また、時間の制約のある子育てしている方々への仕事の在り方として、インターネットを通じて都市圏から仕事をもってくるような仕組みづくりを検討している。【産業振興課長】 企業の誘致策について6月議会への提案を検討している。また、P8(2)町有地の調査(3)中心市街地の開発・活性化(7)サービス付き高齢者向け住宅(8)若者向け住宅の4つをセットで考えている。サービス付き高齢者向け住宅については、高齢者の町内移住により、若者世帯の転入促進及び若者向け住宅の2つを動かしたいと考えている。高齢者向け住宅については、町内で移住してもらい空き家に若者世帯の転入促進を行いたい。役場跡地に若者向け住宅の検討をしている。旧公民館については、実松川の改修が始まったので、移転先として用地交渉を行うことになると考えている。【町長】	産業振興	産業振興課長 町長	基山町では、市街化区域内において産業用地として造成する用地は限られており、大規模な企業誘致は難しい状況です。 そこで、市街化調整区域においては地区計画を活用し、周辺環境との調和を図りながら産業用地の拡大を図っています。 また、企業は立地の選定について雇用の確保を重視する傾向にあり、雇用の確保が喫緊の課題となっています。 旧役場跡地の活用策としては、官民連携によるPFI方式での基山町地域優良賃貸住宅(名称:アモーレ・グランデ基山)の整備を行い、令和元年7月1日から入居を開始しました。 旧公民館は、実松川改修事業の代替地になっています。		○	産業振興課 定住促進課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況	担当課
10	町有地の調査は、家を建ててもらおうようにするための施策なのか。 調査して、民間業者への入札を行うのか。	大きい土地であれば把握をしているが、小さい土地については把握できていないため、調査を行っている。【町長】 民間の活力の活用などについては、積極的に検討を行う。【町長】	定住促進	町長	平成27年度に実施しました町有地調査をもとに、利活用策を検討した結果、旧役場跡地や旧図書館跡地、役場西側用地などを新たに活用を図りました。 また、市街化区域内の利活用可能な土地については、民間による活用を促すための補助金制度などを整備しました。 神の浦のため池を埋め立てた町有地については、公募を行っています。		○	定住促進課
11	消防の格納庫の老朽化が進んでいる。火の見やぐらの腐食が激しいので、立替えが必要である。また、格納庫にトイレがないため移転か建替えについて、どういう申請が必要なのか指導していただきたい。 格納庫はどこが管理しているのか。 2部の場合は、1区と11区で構成されているので、格納庫の場所も含めて相談に乗っていただきたい。	ホース掛け設備については、補助金交付要綱により全額の補助を行う。改築・新築に関しては、400万円を上限に3分の2の補助が可能である。格納庫が老朽化しているため、移転を含めたところで個別に協議をさせていただきたい。【総務企画課長】 ホース掛けについては、一旦立替が必要であるが100%の補助である。格納庫についての補助については、400万円を上限に3分の2の補助である。【副町長】 格納庫は各区が管理している。【副町長】 1区と11区の間に入り、調整を行いたい。【町長】	防災	総務企画課長 副町長 町長	1区と11区で現在の格納庫にトイレを増築するのか、格納庫を別の場所へ移転をするのか検討中であることは認識しております。格納庫の維持管理につきましては、格納庫を所有する行政区で管理を行っていただいていますので、1区と11区と町で補助金を活用した協議を引き続き行ってまいります。		○	総務企画課